

# 平成 29（2017）年さけます来遊状況（第 2 報：9/30 現在）

## 4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 北海道の 9 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚（2013 年級）、5 年魚（2012 年級）ともに 1994 年以降一番少ない
- 北海道のサケの平均重量は 3.59kg で、前年同期と同水準

### ・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、9 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、5 年魚（2012 年級）が全体の 52%と最も多く、次に 4 年魚（2013 年級）が 33%を占め、6 年魚 11%と続いています。5 年魚は前年同期の 42%、4 年魚は前年同期の 86%と減少しています。1994 年以降の平均との比較では、それぞれ 34%と 26%となっており、4、5 年魚とも 1994 年以降で一番少ない状況です。また 6 年魚は 1994 年以降の平均の 74%の水準ですが、4、5 年魚が少ないため、年齢割合は高めになっています（図 1）。

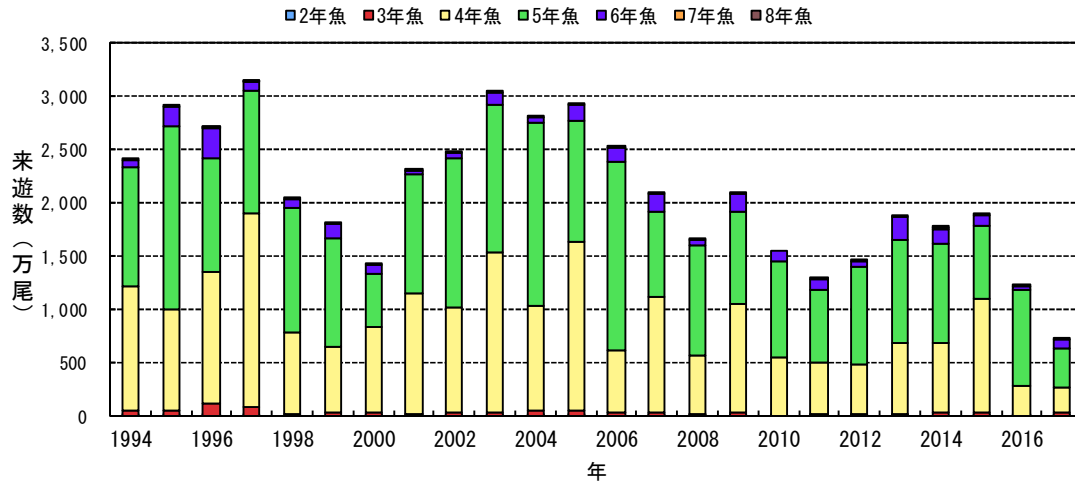


図 1. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）.

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2013 年級は、4 年魚までの来遊数（2～4 年魚の来遊数）で比べた場合、1992 年級以降では一番少なくなっています。また 5 年魚である 2012 年級についても、5 年魚までの来遊数（2～5 年魚の来遊数）で比べた場合、1992 年級以降で一番少なくなっています。（図 2）。

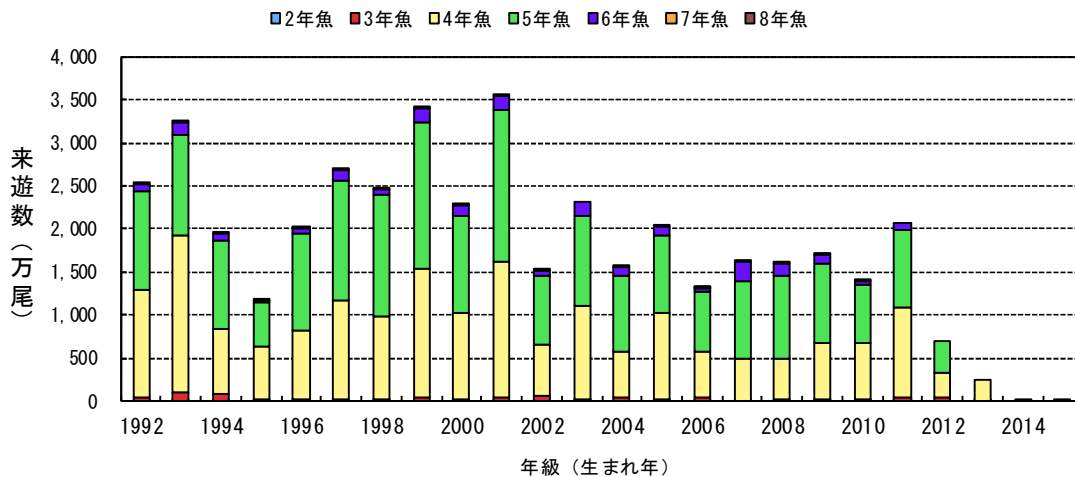


図 2. 9 月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、5年魚が前年同期の27%、1994年以降の平均の15%、4年魚は前年同期の61%、1994年以降の平均の13%と、4、5年魚ともに1994年以降では一番少なくなっています（図3）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、5年魚は前年同期の49%、1994年以降の平均の53%、4年魚は前年同期の100%、1994年以降の平均の42%と、5年魚は1994年以降では二番目に少なく、4年魚が一番少なくなっています（図4）。

なお、北海道のサケの年齢組成は来遊時期の初めの頃には高齢魚（5年魚）の割合が高く、シーズンが進むにつれて3年魚や4年魚の割合が高くなる傾向があるため、今後の動向を注意深く見ていく必要があります。

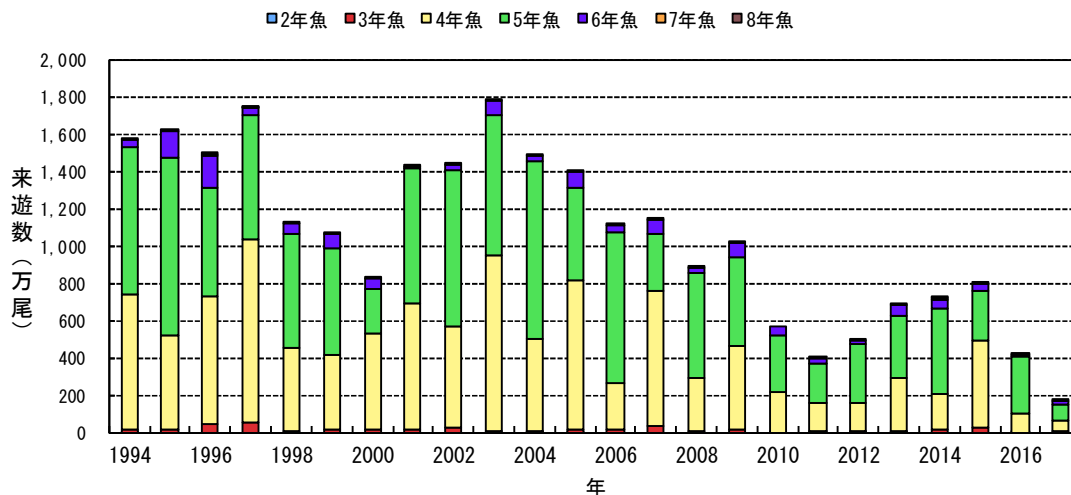


図3. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

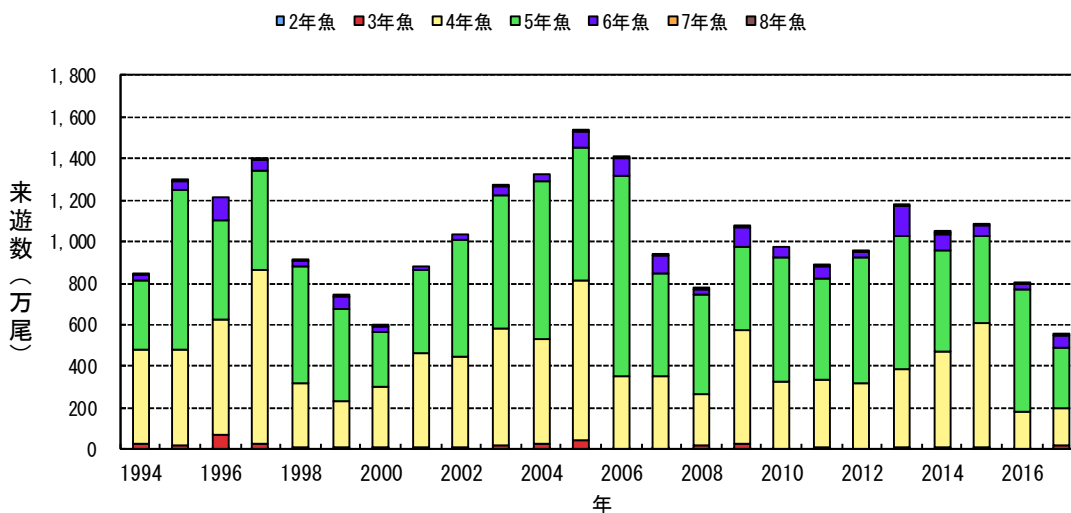


図4. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における9月30日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.59kgであり、これは前年同期の102%に相当します（図5）。

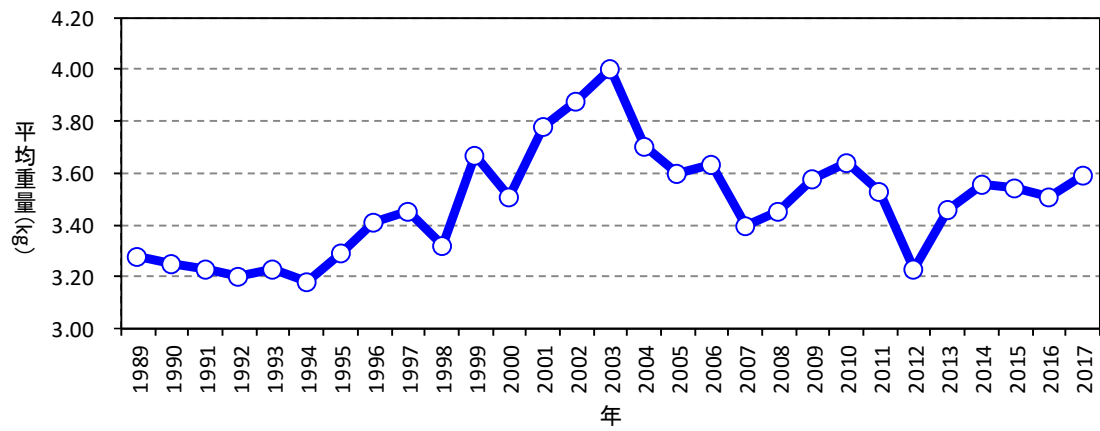


図5. 9月末時点のサケ平均重量（北海道）.